

平成 25 年度の主な事業報告

社会福祉法人宰府福祉会

社会福祉事業

平成 25 年度は、当法人の二つの施設において節目の年を迎えることができました。開設 35 周年の「障害者支援施設 宰府園」と開設 15 周年の「障害福祉サービス事業所 やまもも」です。これまでの皆様方のご支援ご協力に感謝申し上げます。

さて、事業実施につきましては、基本理念、事業方針のもと、利用者の権利擁護とサービス向上を図るべくして、地域に信頼され、そして地域に開かれた事業運営を目指して実施しました。

法人経営面では、経営・執行機能の充実や法人全体の事業運営管理等を行うための法人本部機能の強化、そして、人事・労務管理面では、諸規則の見直しと効率的運用を進めるとともに職員の人材育成等のための研修事業の実施、人事異動等を実施することとしました。事業経営面では、新規事業であるグループホームやまももの開設、さぼーと春日の事業拡大、すみれ園従たる事業所の放課後等支援事業の開設、県立太宰府特別支援学校放課後等支援事業の受託運営、の初年度事業としての事業充実に全力を注ぎ努めることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

利用者サービスの提供については、各種委員会活動等をとおして、その充実を図ることができました。

具体的項目については、つぎの通りです。

(1) 法人基本理念の浸透と展開

当法人の基本理念の理解を深めるため、理念設定経緯や背景・意義等について法人研修会や会議等の折に説明理解に努めました。また、事業方針や目標との関係を明確化していく努力を繰り返し行いました。日々の業務の指針とするため、業務を振り返ることで理念を意識した取り組みをしました。

(2) PDCA のマネジメントサイクルの理解と実施

サービス向上委員会においてその理解を深めたが、各施設・事業所において年度当初の事業計画や個別支援計画に基づいて日常的な支援活動や利用者支援において、PDCA サイクルで実施することについてはより徹底することが求められます。

(3) 虐待防止のための対策

権利擁護委員会が中心となって、利用者の権利擁護をより進めるため、全職員の人権意識チェックを行いました。また、虐待事例等の情報を提供し理解を深めて支援活動に生かす取り組みをしました。

(4) リスクマネジメント

リスクマネジメント委員会において取り組みました。利用者並びに家族、地域の福祉ニーズの多様化に伴い、リスクマネジメントの重要性は大きいと思えます。日常的なリスク管理を含め、法人全体においてのリスク対応の体制づく

りが今後も求められます。

(5) 人事管理及び人材育成

組織・研修委員会が中心となって法人職員研修会を年2回開催しました。その他新規採用職員の新任研修会と中堅職員研修会を実施することができました。人材育成及び組織の活性化等のため、事業所間配置転換を大幅に実施することにしました。

今後は人材育成継続等としての事業所間配置転換の制度作りをしていく必要があります。また、法人全体としての人材育成計画を作成し、各事業所と連携した研修等実施が必要と考えています。

職員採用については、本部や事業所等が人事採用手続きを行い、理事長が最終判断し人事採用を行っていますが、これからの求人難や求人に関する問題等の防止のため、法人全体としての計画的な人材採用と求人窓口の一本化の必要があります。

(6) 事業経営

25年度新規事業のグループホームやまもも、さばーと春日の新規事業、すみれ園の従たる事業所みつばち、県立太宰府特別支援学校放課後等支援事業の受託事業については初年度としては試行錯誤しながら努めてきました。今後より円滑な運営のため全員で努力をする必要があります。

法人内における生産活動や相談事業等についての連携と協力体制づくりについては検討の段階にとどまり実施までには至りませんでした。引き続き取り組んでいくこととしています。

(7) 法人本部事務局

財務・会計等についてITネットワークの構築を行い、セキュリティ、情報管理、業務効率化等において現在進めています。

各事業所事務担当者の事務部連絡会を毎月1回行い、公認会計士のチェックも行って会計上の適切な処理を行っています。しかし、より適切な財務会計業務とするため、内部会計監査の機能の充実を図っていく必要があります。今後法人本部として、各事業所の事業運営や財務会計等について積極的に現場に足を運び、職員の意見を聞きながらより有効な法人運営に努めていく必要があります。

広報委員会においては法人全体の広報活動を推進するための広報誌「わかたけ」を第3号(7月)、第4号(10月)、第5号(1月)を発行しました。また当法人のホームページの開設準備と管理等について内容検討を諮り次年度に開設の運びとなりました。

公益事業

法人の使命である地域福祉に貢献し、多くの関係者に信頼と期待を得られるようになりました。春日市長から直接働く仲間が激励を受け、その時の様子が春日市報に掲載されたことから、一般の方にも幅広く理解されるようになりました。今年度から「春日市福祉ぱれっと館」に加えて「春日市いきいきプラザ」の清掃業務を春日市より受託させていただき、新たに3名の障がい者を雇用拡大することができました。